

# 要ヶ丘



発行

海士町立海士中学校

住所

海士町大字海士九四四番地

TEL

08514(2)0744

## 隠岐郡新人大会

十月六日にバレーの部、十月十日、十一日にテニスの部の平成三十年度隠岐新人大会が開催され、各会場にて熱戦が繰りひろげられました。そしてチーム一丸となって、マナー面や応援に取り組むことができました。ご声援くださった地域の皆様、保護者の皆様、誠にありがとうございます。

【教員】

### 【男子ソフトテニス部】

今回の新人戦のために、僕達男子テニス部は、全員普段の練習から必死で取り組んできました。一球一球のボールを集中して打ち、仲間で声を出し、励まし合って練習してきました。本番では、個人戦では一組しか出雲地区の出場権を獲得することはできませんでしたが、団体戦では、準優勝することができ、全員で出雲地区の出場権を獲得することができました。練習の成果を十分に出し切り、最後まで諦めない姿勢を貫くことができた新人戦になったと思います。

【生徒】

### 【女子ソフトテニス部】

今回の新人戦では、出雲地区出場を目指して、たくさんさんの練習を頑張ってきました。団体戦では西郷南中学校に、二対一で惜しくも負けてしまいました。ですが、ベンチからの応援や、ペアとの声かけを大切にチームで協力して挑むことができました。また、個人戦では、それぞれのペアで一球一球大切に、ボールを最後まで追いかけることを意識して、試合に挑むことができたと思います。今回、見つかった課題を次の試合に向けて直していきながら、日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。

【生徒】

### 【男子バレー部】

今回の新人戦では、西郷南中学校と戦い、二対〇でストレート負けしてしまいました。これまで、たくさんの人たちにお世話になりながら練習してきたので、結果で恩返しをすることができなく、とても悔しいです。しかし、全員で取り組んできた「ボールを最後まで追いかける」という目標は達成できたのではないかと思います。また、今回の試合で学んだことを次の大会でいかしたいと思っています。

【生徒】

### 【女子バレー部】

私たち女子バレー部は、西ノ島中学校との合同チームで、新人戦に出場しました。合同チームが始動し始めた直後はお互いに緊張していましたが、合宿などを通して、お互いの仲を深めることができましたと思います。本番では五箇中学校には勝ちましたが、決勝戦の西郷南中学校には敗れてしまいました。二位という結果ではありましたが、出雲地区出場権を得ることができたので、出雲地区に向け、今回見つけた課題を修正できるように練習を頑張りたいと思います。出雲地区では、まず一勝を目指して頑張るの、応援よろしくお願いします。

【生徒】

## 二年生与那国中との 遠隔授業

二年生はキャリア学習の一環として沖縄県与那国中学校と、島前高校の寮で遠隔交流を行いました。スムーズスペースというプロジェクターを使用しての交流は本校では二度目の取り組みでした。この取り組みは、三学期以降も継続して、卒業時まで継続して行っていきます。

【教員】

今回の与那国中学校との遠隔授業では、お互いの島について話し合うことができました。同じ島に住んでいる中学生ということもあり、たぐさんの共感できる部分や、またたぐさんの異なる部分もあり、とても貴重な経験になったと思います。少し緊張している部分があり、なかなか意見をいうことができない時間もありましたが、お互いの学校や将来のことについて同じ視点で話すことができ、良かったと思います。次回も仲を深められるような活動がしたいと感じました。

【生徒】

## 一年生美山中との Web交流

十月十九日(金)の総合的な学習の時間に、海士中学校一年生と京都府南丹市立美山中学校一年生で、インターネットを使用し、両校を繋いでのweb交流を行いました。小学校の時に、美山小学校とweb交流をしていたこともあって、顔見知りの生徒もいて楽しい雰囲気でも交流ができました。それぞれ地域や学校の紹介、そして総合的な学習での活動の内容について発表し、これからの活動に向けて気持ちを高めることができました。

【教員】

今回の美山中学校との交流で、いろいろなことを知ることができました。私は美山中学校と交流したのは初めてだったけど、色々なことが分かったし、海士中学校や海士の良いところを伝えることができて良かったです。テレビを通してだったけど、お互いのことも知れたし美山中学校の部活のことなども知ることができました。海士中の自己紹介では、自分たちのことも紹介することができました。これから交流も増えると思うので、今回のことを生かしてお互いのことをもっとたくさん知っていききたいなと思いました。

【生徒】

## 島前音楽会

十月二十五日(木)西ノ島ノアホールにて島前音楽会が行われました。今年度は、合唱に「君の知らない物語」、合唱奏にレゲエの「ONE LOVE」を演奏しました。今年度も観客を魅了する素晴らしい発表を生徒たちはしてくれました。左記に生徒の感想を紹介します。

【教員】

今年の音楽会では、合唱、合唱奏ともに、とても良い演奏をすることができました。それから、私にとって今までやってきた九年間の音楽会の中で、一番良い音楽会になりました。合唱の方では、三年生からの勧めで指揮をやることになり、練習ではなかなか上手にできず嫌になったりしましたが、本番では伴奏と歌の人たちを一つにすることができ、指揮をやっていてとても楽しかったです。また、合唱奏の方では箏を弾くことになり、メンバーと音を合わせたり、リズムを合わせたりするのは大変でしたが、楽しく演奏することができました。本番で私たちの演奏を聴いてくださった方には、拍手をしてもらって本当に嬉しかったです。中学校生活の最後の音楽会を海士中のみんなと演奏できてよかったです。一、二年生には、来年さらにお客さんを魅了する演奏をしてほしいと思います。

【生徒】

私は今回、初めてピアノの伴奏に挑戦しました。始めたばかりの頃は上手いかなかったこともありましたが、何度も練習して弾けるようになりました。本番はミスもあつたけど最後まで弾ききることができました。

た。「君の知らない物語」はテンポも速く、強弱も激しい曲で、私のあまりひかないタイプの曲を弾くことができました。今回の音楽会を通して、自分の音楽の幅も広げることができました。

【生徒】

## 生徒会始動

生徒会長になって意識したいことは、全校の意見を反映させた活動をする事です。そのために意見ボックスを設置しています。他にも、他学年との交流を増やすためにも、交流給食を計画しています。全校の絆を深めるために、これから生徒会でも協力し合って、イベントや様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

【生徒】

私が一歩先に行動し、みんなに示せるような生徒会長になっていきたいと思っています。

## 「山に木を植える」

最近では、珍しくなくなりりましたが、豊かな海(魚や海藻)を育てるために、山に木を植える運動が日本各地で行われています。

北海道襟裳地方は、昆布の産地で有名ですが、明治以降、入植が盛んに行われ、暖を取る燃料として木材が伐採され、森は丸裸になってしまいました。その結果、山や畑が荒れ、それと並行して海も荒れてしまい、昆布が採れなくなってしまう。町を離れる人も出だし、以前の活気が消えかけた頃、一人の漁師さんが立ち上がり、山に木を植えて出したのです。四十年かけて木を植え続け、山に緑が戻った時、海にも昆布が戻ってきたのです。先頭に立って木を植えたのは昆布漁師の飯田常雄さんは「私ら漁師だからって、海のことだけ考えればいいということではなく、山が荒れると海が荒れるんだということね、四十年やって本当に頭の芯からそう思うんですね。」とおっしゃっています。

豊かな海をつくるためには、その背後に豊かな山が必要です。

それでは、豊かな人間をつくるためには、背後に何が必要なのでしょうか。

【真野 幹】